

報道各位

2019年5月27日

株式会社日本能率協会コンサルティング  
代表取締役社長 鈴木 亨

日刊工業新聞社主催「スマートファクトリー展 2019」出展  
ものづくり IoT の“今”を「目で見て」「実際に触れて」  
新たな潮流と可能性を体感できるブースを準備

株式会社日本能率協会コンサルティング（以下、JMAC／本社：東京都港区・代表取締役社長：鈴木亨）は、2019年6月5日（水）～7日（金）の会期で開催される日刊工業新聞社主催「スマートファクトリー展 2019」に出展をいたします。

JMAC は、1942年設立以来、日本の製造業の発展と製造現場の改善・改革に寄与するものづくりコンサルティングを手がけています（1942年当時は社団法人日本能率協会、1980年に株式会社日本能率協会コンサルティングとして分社独立）。

先進的かつ実用的な生産技術・生産マネジメントシステムなどの導入・定着化を進めてきた JMAC は、ものづくり IoT コンサルティングの分野でも、長年の技術と経験を元に、将来設計までも踏まえた机上の空論ではなく、現場でもしっかりと実行・運用が出来るものづくり IoT の導入の支援をしています。

今回出展する「スマートファクトリー展 2019」は、昨年 2018 年の展示会に続く 2 回目の出展です。

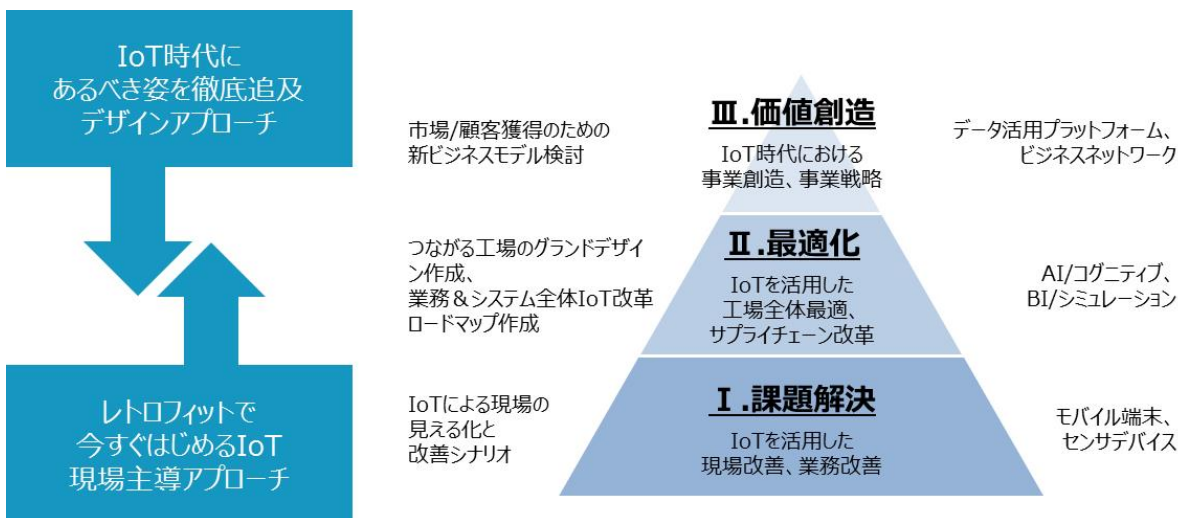
本年度の出展にあたっては、JMAC が従来より提唱をしている「現場 IoT 7 つ道具®」に加えて、JMAC オリジナル体感型コンテンツである「KartFactory」の展示も行います。

## 【JMAC の「ものづくり IoT」の考え方】

経営革新/現場改革ノウハウに、IoT システムインテグレーションを融合をさせています。

ものづくり IoT 時代においては、それぞれ 3 つのステージがあると JMAC は考えます。

- I. 課題解決 : IoT を活用した現場改善、業務改善
- II. 最適化 : IoT を活用した工場全体最適、サプライチェーン改革
- III. 価値創造 : IoT 時代における事業創造、事業戦略



それぞれのステージに見合った IoT アプローチ、最適なデバイス、組織体制作り、人材育成の支援をしています。

## 【現場 IoT7 つ道具®】

JMAC では 2015 年よりものづくりの現場における IoT 導入の視点・ポイントを整理し、「現場 IoT7 つ道具®」として提唱・拡販をおこなっています。



「現場 IoT7 つ道具®」は、以下の 7 つの切り口で展開をしております。

IoT 位置 Internet of Location	人、もの、荷役機器の位置や動線を追跡し、それらに付随する情報をデータ化することで作業の生産性アップと効率化を図る。
IoT 作業 Internet of Operation	現場において、人の稼働状況、動線状況、集中度などをリアルタイムに計測し、数値化することで作業者の作業を詳細に把握する。
IoT 場面 Internet of Situation	AI を使ったカメラモニタリングなどで現場を常時観察することで、定常作業のロスを見つけたり、異常発生時の原因究明を行う。
IoT 数量 Internet of Count	数量実績という付加価値を生み出さない作業を優先的に効率化することで、作業者の負担を減らし現場全体の生産性を高める。
IoT 危険 Internet of Hazard	危険発生の瞬間の動画記録などを位置情報と関連させることで、作業者に IoT ツールを使って注意喚起を促し、リスクを予測し異常発生を防止する。
IoT 稼働 Internet of Availability	加工時間、停止時間などを計測し、その大量のログを新しい通信技術を用いて実用レベルで活用することで、工場全体の能力を定量的に把握し効率的に工場の運営を進める。
IoT 品質 Internet of Quality	デジタル画像などを用いて不良品などの品質検査基準を計数化することで、市場への不良品流出を防止し一貫した品質管理を行う。

今回の「スマートファクトリー展 2019」の出展にあたっては、この現場 IoT7 つ道具の視点・切り口に沿って、実際のデバイスなどを展示しつつ、それぞれの企業課題、現場課題へのアプローチ法について説明します。

## 【KartFactory】

JMAC の KartFactory は新しいものづくり体感アクションラーニングです。

実際の現場を再現した空間で、ペダルカートをつくりながら、ものづくりについて総合的に学びます。チームで生産性向上にトライし何をどうすれば改善できるのかを体験するプログラムで、JMAC ではそれを“リアル・シミュレーション”と呼んでいます。

カートファクトリーは JMAC 海外法人で 2006 年に開発され、多くの海外メーカーで導入されています。これを日本版にアレンジし、2014 年 4 月に逆輸入しました。




(実際のカート)

カートの組み立て・解体を“ライン”と仮定し稼働状況、工程管理、人員配置・訓練、作業手順、改善ポイントなどをシミュレーションしていきます。

「スマートファクトリー展 2019」では、実際のカートをご用意して、工程内における IoT 導入・設置をリアルに体感できるような場をご提供します。

## 【スマートファクトリー展 2019 出展概要】

会 期	2019年6月5日(水)～7日(金) 10時00分～17時00分	
会 場	東京ビッグサイト 青海展示棟 Aホール ※最寄り駅：東京テレポート駅 <a href="http://www.bigsight.jp/access/aomi/information/">http://www.bigsight.jp/access/aomi/information/</a>	
主 催	日刊工業新聞社	
JMAC 出展 ブース	S-48 ブース ⇒入場お申込み： <a href="https://biz.nikkan.co.jp/eve/smart-factory/">https://biz.nikkan.co.jp/eve/smart-factory/</a>	

★併催講演「出展者セミナーステージ」に登壇！★

6月5日(水)10時10分～11時10分

『スマートファクトリーを実現する改革シナリオと実践事例』

JMAC デジタルイノベーション事業本部 執行役員 シニア・コンサルタント 松本賢治登壇！

スマートファクトリーをどう描けばよいのか、構築はどう進めればよいのか。JMACの「SF48」や「IoT7 道具」をもとに解説します。また、スマートファクトリーの先駆けとなる実践企業事例を紹介します。



## 《株式会社日本能率協会コンサルティング 概要》

社名： 株式会社日本能率協会コンサルティング (JMAC)

所在地： 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル 7階

TEL: 03-4531-4300 (代表) FAX: 03-4531-4301 <http://www.jmac.co.jp>

創立： 1980年4月1日 (創業1942年)

資本金： 2億5千万

社員数： 約300名

業務内容： 経営コンサルティング業。戦略、マーケティング&セールス、R&D、生産・TPM<sup>®</sup>、サプライチェーン、組織・人事、BPR、ITビジネスなど、クロスファンクショナルなコンサルティングサービスを展開。

### ■広報・取材・その他に関するお問合せ先：

ビジネスイノベーション推進本部 広報担当：豊島 涼子

TEL: 03-4531-4307 FAX: 03-4531-4301 携帯: 080-9356-5138 E-mail: [ryoko\\_toyoshima@jmac.co.jp](mailto:ryoko_toyoshima@jmac.co.jp)

以上